



常安寺本堂欄間彫刻(1)



常安寺本堂欄間彫刻(3)



常安寺本堂欄間彫刻(2)

43 宮古市の指定文化財21

常安寺本堂欄間彫刻

欄間は、部屋の明かり取り取りや換気のため天井と鴨居との間に備えられます。格子を用いた実用的なものから精巧な彫りが施された装飾的なものまで、その種類はたくさんあります。

常安寺本堂の欄間彫刻は竜や獅子、天女などが透かし彫りされ、色彩豊かに彩られ立体感あふれるつくりとなっています。この欄間彫刻は、文化十二年(一八一五年)に製作されたもので、早野定右衛門により寄進されました。彫師は直蔵(当地方出身の宮大工)と銘に記されており、その見事な仕事からは職人の並々ならぬ技量がうかがえます。

欄間は、部屋を快適にするほか、その精巧な作りは建物の気品を高めます。皆さんもお寺や有名な建築物を見学するときは、欄間に注目すると、同じ建物でもまた違ったことが見え、楽しむことができます。

(写真・文/市教育委員会)